

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
④安全・安心な暮らしの確保	災害時の早期避難を促す仕組みづくり	・災害時の早期避難の実現に向けて、住民に平時から防災を意識付けてもらうための取組が必要である。 ・地域で避難行動要支援者を早期に避難させるための避難支援者の確保が課題となっている。

市町名	大学・高校等に期待する取組
呉市	講座や広報誌等を通じて住民に早期避難に関する情報を発信しているが、目立った成果が見られない。実際の避難行動に結びつくような効果的な方策を検討していただきたい。（特に高齢者、障がい者への浸透を期待）
竹原市	地域防災について、地域の自治会等の自主防災組織が取り組んでいるが、高齢化が進んでいる。若年層の防災に対する興味・関心を向上させるための取組を検討していただきたい。
三次市	住民の行動変容、早期避難に結びつくような効果的な啓発手法等の検討・提案していただきたい。
東広島市	より効果のある自助意識に関する普及啓発を実施していく必要がある。 また、それぞれの避難行動要支援者に即した円滑な避難支援のための計画を策定する必要があるものの、作成に時間を要する。 早期避難を促す術として有効な方法がないか検討していただきたい。
江田島市	大雨時等に避難情報を発令しても、避難者が少ない。 ハザードに該当する方が率先して積極的に避難したくなる手法や取組について検討していただきたい。
府中町	災害時において自助・共助が重要な役割を果たすが、地域防災の担い手の高齢化が進んでいる。若年層の防災意識向上と、地域の防災活動への参加につなげる取組を検討していただきたい。
海田町	地域防災力の向上につながる取組を検討していただきたい。
熊野町	警戒レベル3高齢者等避難での避難率が低い。 地域での声かけ避難の認識が必要であるが、避難行動要支援者の避難に当たって支援者の確保が困難となっており、また、自助の意識が高まっていない。 地域内の多世代でコミュニケーションが広がり、繋がっていく取組や、楽しく防災活動が行え、防災の輪が広がる取組を検討していただきたい。 また、地域の防災意識や、自助の意識を高めるための取組についても検討していただきたい。
坂町	平成30年7月豪雨災害から6年が経過し、毎年出水期には何度か避難情報を発令するが、年々避難者数が減少している。 行政が開設する一時避難場支援のみならず、必要な避難行動につながるための方策を検討していただきたい。
世羅町	避難行動要支援者の個別避難計画の作成に今後取り組んでいく予定であるが、一番の課題である支援者の確保のため、要支援者と支援等実施者をマッチングさせるような仕組みを検討していただきたい。
周防大島町	防災の啓発等を行い早めの避難を呼びかけているが、高齢者等避難行動要支援者の対応は課題が多いため、その対応策を検討していただきたい。

市町名	大学・高校等に期待する取組
上関町	当町は高齢者が多いことに加え、建物が密集した集落、斜面に建てられた家屋、狭隘な道、離島という地理的・社会的条件のため、災害発生時などに多くの危険要因がある。 当町は独居高齢者も多いことから、高齢者を考慮した災害時の早期避難を促す仕組みづくりを検討していただきたい。
田布施町	『たぶせ防災フェスタ』や『地域自主防災組織』を立ち上げ、平時から防災・減災に対する意識付けを行っている。 避難行動要支援者を早期に避難させるための支援を含めた、地域の防災訓練などのあり方について検討していただきたい。
浜田市	当市でも早期避難や防災への意識付けが重要であると考えている。町内会等への出前講座、講演会や研修を実施して早期避難を促し、災害への意識を高めてもらうよう努めている。 防犯サークルを有効的に活用し、防犯だけではなく、防災についても取り組める仕組みづくりを検討していただきたい。
出雲市	災害時の早期避難の取組について、平常時からの防災意識の高揚と災害時の避難支援体制の確保が課題となっている。 大学・高校等と地区の協働による地区防災計画の策定や、避難支援の連携、防災研修会の開催に係る取組を検討していただきたい。
飯南町	早期避難が実際に行えるよう地域住民への啓発に協力していただきたい。
益田市	住民の防災意識の向上に繋がるような取組と、災害発生時に避難を円滑に行うための避難支援者の確保についての方策を検討していただきたい。
邑南町	災害時要支援者の方や周囲の支援者に対し早期避難を促す体制づくりや、避難計画作成を促す取組や啓発方法を検討していただきたい。